

グローバル化と若年雇用

使用者の立場から



金 榮培 (経済学博士)

目次



1. グローバル化の経済的影響
2. 若者に対するグローバル化の影響
3. 健全で公正な経済のための若者の役割
4. 職業能力開発を通じたエンプロイアビリティの向上

グローバル化の経済的影響



資源の合理的流通

効率性

規模の経済

経済上の支配

相互依存

所得格差の拡大

グローバル化

自由貿易

雇用創出

生活の質の向上

産業の空洞化

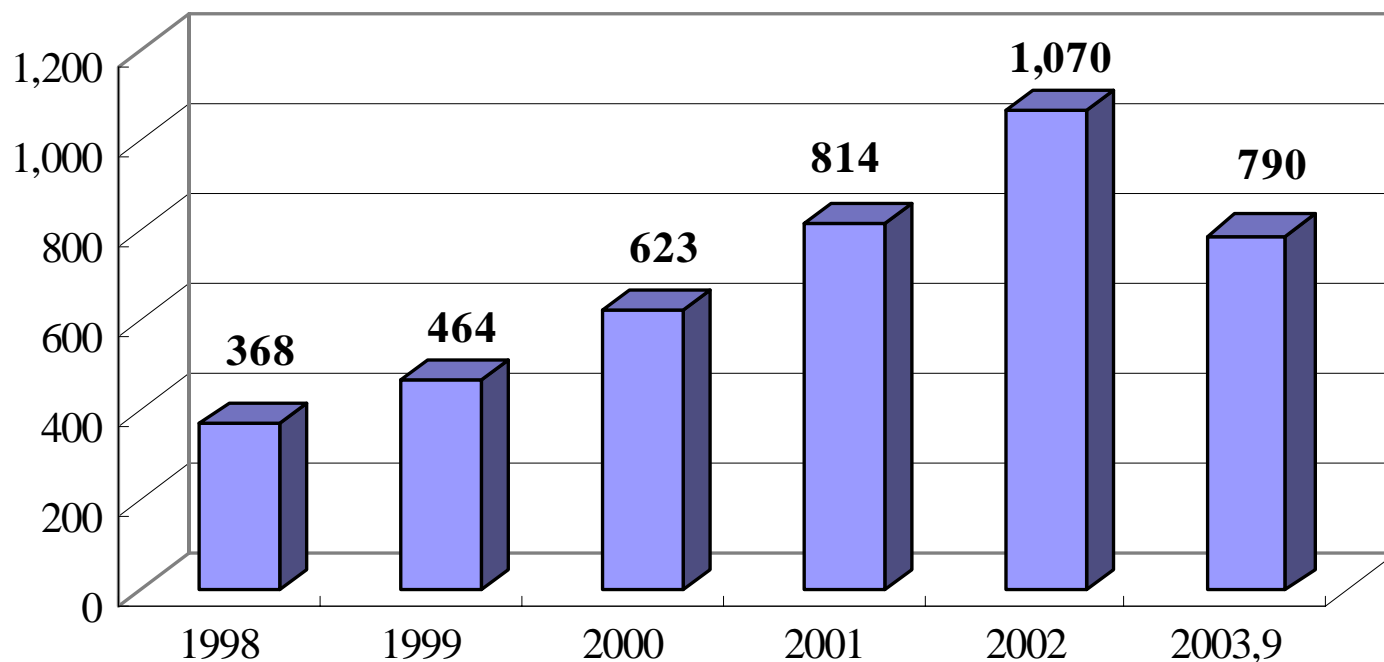
若者の失業率

非正規雇用

韓国におけるグローバル化の経済的影響



〈図1〉 海外進出した韓国企業の数

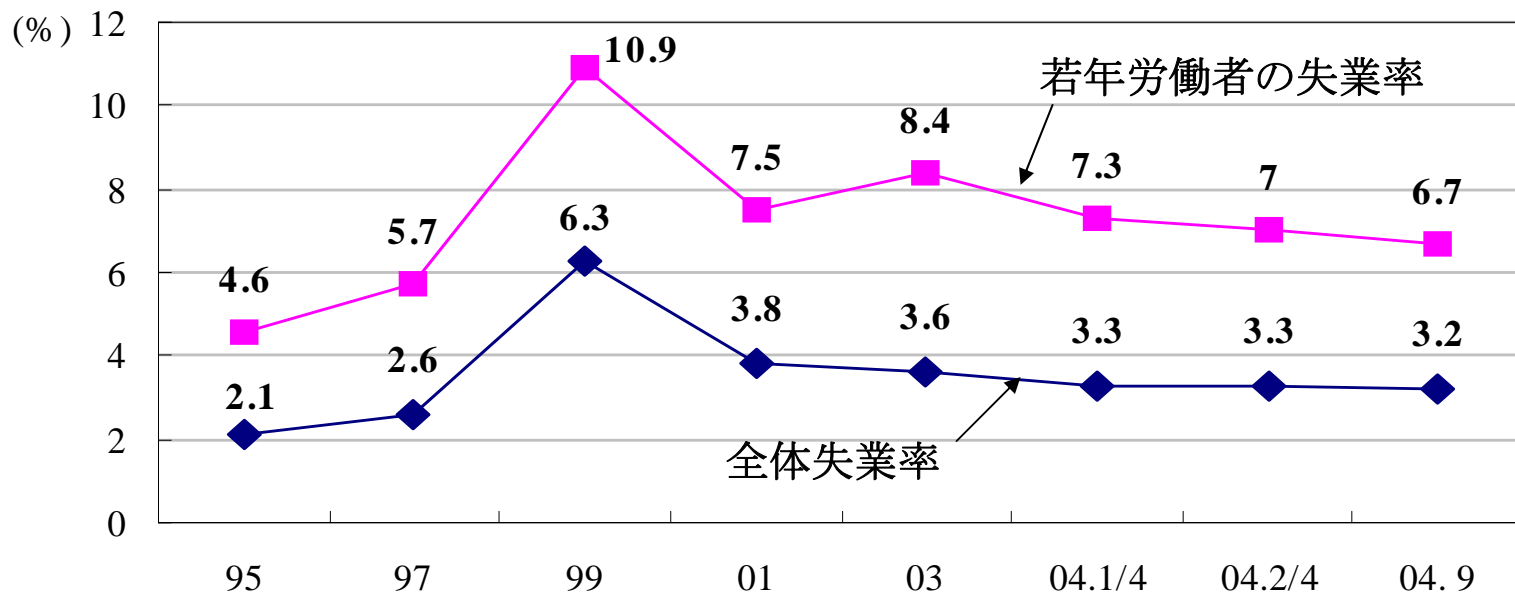


出典：韓国政府統計局、2003年9月

グローバル化が韓国の若者に及ぼした影響



〈図2〉 韓国における全体失業率および若年労働者の失業率の傾向



出典：韓国政府統計局、「労働力人口」、各年

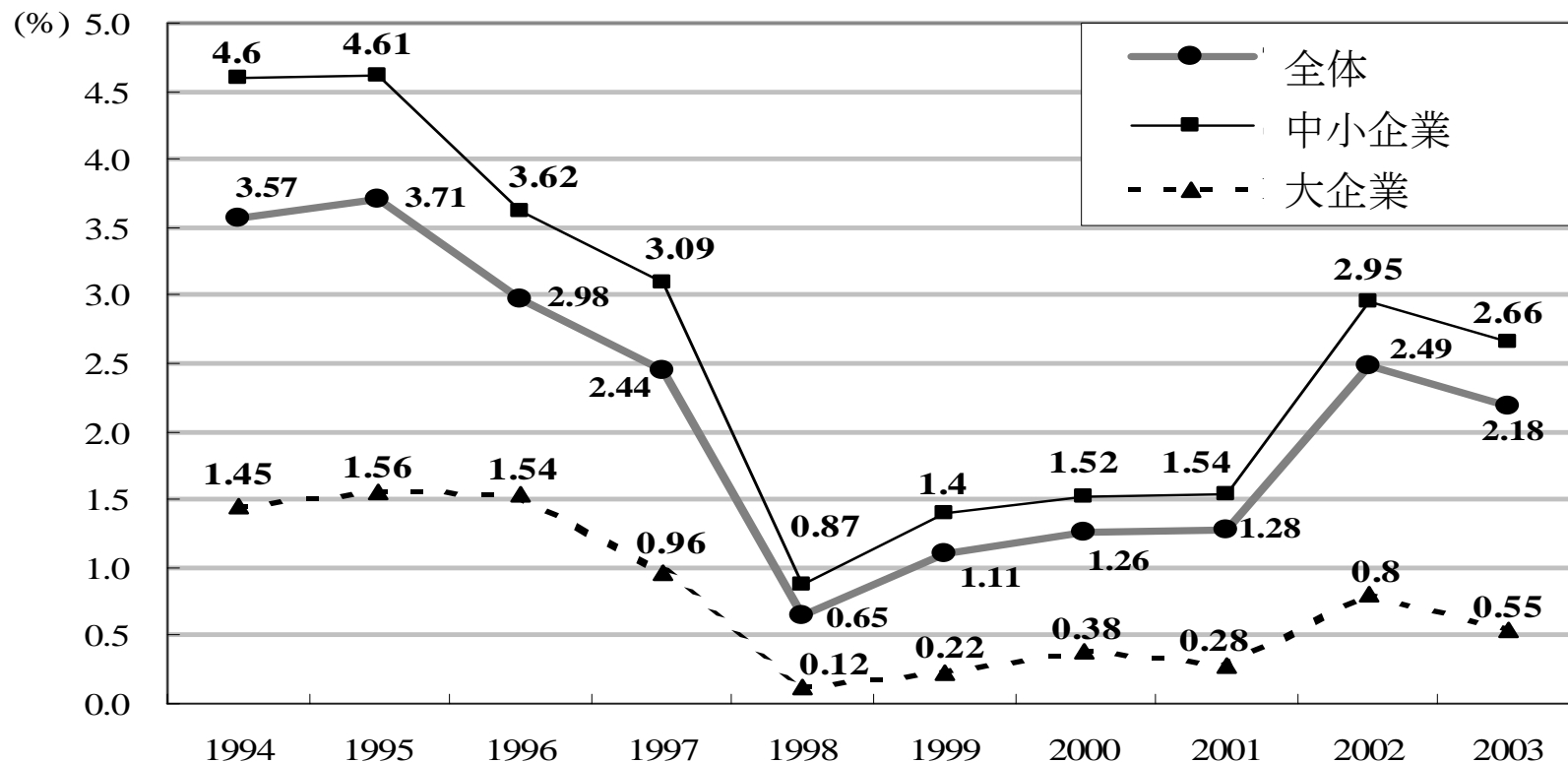
グローバル化が韓国の若者に及ぼした影響



- 韓国において若年労働者の失業率が高いことの背景
 - 雇用なき成長
 - － 技術革新と産業構造の高度化
 - － 10億ウォンのGDPを創出するのに要する人数：
68.7人(1990年) → 41.9人(2002年)
 - 産業界の需要と学校教育のミスマッチ
 - － 経験者の雇用： 39.6% (1996年) → 79% (2004年)
 - 仕事に対するえり好み
 - － 結果として、中小企業と大企業の間で労働力不足の度合いに差が出た

グローバル化が韓国の若者に及ぼした影響

〈図3〉 韓国における労働力不足の傾向



注：(1) 中小企業：従業員数30～299人を指す。(2) 大企業：従業員数300人以上を指す。
出典：労働部「労働需要傾向調査報告書」

グローバル化が韓国の若者に及ぼした影響



● グローバル化に相反する政策

- 既存の正規従業員の雇用・賃金に対する過度の保護
- 雇用の柔軟性を保証するには不十分な法令

〈図4〉 韓国経済に関するOECDの報告書

解雇権に対する厳しい制限

正規従業員の雇用に消極的

非正規従業員の増加

労働市場の二重性が深まっている

解決策

- 非正規従業員のための社会的弱者対策（ソーシャル・セーフティ・ネット）の拡充
- 正規従業員の雇用の柔軟性を高める

出典：OECD経済審査報告書・韓国、2003年2月20日

健全で公正な経済のための若者の役割



- グローバル化に対処するために
 - 正しい価値観と職業に対するしっかりとした見通し
 - グローバル化の現実と正面から向き合う
 - 生涯の職場ではなく生涯の職業
 - 自分自身のエンプロイアビリティを向上させる
 - 様々な経験と専門能力の均衡をとる

エンプロイアビリティ向上のための基本構想



産業界と教育界の連携

- 産業界と教育界の協力
- 産業界の需要に適した教育プログラム
- 教育市場の開放と大学間の競争

行政による支援

- 大学の学務に対する自主性を保証する
- 産業界における再訓練費を軽減するための支援
- 雇用保障サービス

産業界の積極的な姿勢

- 生涯の職業を通じた自己実現
- 個人の競争力の維持